

トピックス 令和7年(2025年)を振り返って

1 令和7年の当管内の漁業のようす

令和7年の渡島総合振興局管内の水揚げは、暫定値ですが漁獲量11万7,000トン(R6年:12万3,000トン)、漁獲金額588億円(R6年:340億円)と昨年を大きく上回り10年振りに500億円を超える見込みとなっています。

魚種別では、養殖ホタテガイは5万8,000トン(前年比99%)と好調を維持し、コンブは3,566トン(前年比94%)と減少したものの、いずれも単価上昇の影響により、金額ではそれぞれ343億円(前年比304%)、88億円(前年比122%)と増加しました。

スルメイカは漁獲量は3,200トンとなり3年ぶりに3,000トンを超えた一方で、近年増加傾向にあったブリについては、5,000トン(前年比50%)となり、また近年不漁が続いているサケについても121トンとなり回復の兆しが見られないまま終漁となりました。

2 スルメイカの漁獲可能量(TAC)超過の影響

スルメイカについては、令和6年度までの記録的不漁が一転し、令和7年度は全国的な資源量の増加により小型するめいか釣り漁業のTACが超過し、11/1から小型するめいか釣り漁業への採捕停止命令の発出や、渡島管内の定置漁業においては11/6~11/19までスルメイカの放流を行うなど、漁業者のみならず地域の関連産業に大きな影響が及びました。

令和8年度漁期のTACは68,400トンとなり、7年度漁期の当初TACの19,200トンから大幅に増加しましたが、引き続き、漁業者が安心してスルメイカ漁を営めるよう、関係漁業団体と連携して必要な対応を行って参ります。

3 おしまの漁業活性化プロジェクトの取組

近年の海洋環境の変化等の影響により、管内の主要魚種の漁獲量が減少している一方で、単価の低い魚種の漁獲量が増加しており、漁業者の所得向上につながっていないことや、漁業就業者不足により漁業経営の安定的な継続が困難な状況になっていることから、管内水産物の消費拡大や漁業就業者確保に向けた取組を通じて、管内の漁業の活性化を図ることを目的に、振興局独自事業「おしまの漁業活性化プロジェクト」として、次のような取組を行っています。

1) 地元水産物の消費拡大に向けた取組

9月から12月にかけて、函館市及び七飯町の幼稚園、小学校及び中学校(17園校)の学校給食へ、ブリの切り身約3,100食を提供し、そのうちの2校で食育事業として、職員手作りの紙芝居により、近年函館市内でブリの漁獲が増えている理由等についてわかりやすく説明を行いました。

また、1月下旬に市内の小学生(3~6年生)とその保護者を対象としたブリとコンブの料理教室を函館市農水産物ブランド推進協議会と共催で開催し、当日はブリの水揚げが盛んな、南かやべ漁業協同組合女性部5名を講師に招き、19名の参加者がブリの創作料理にチャレンジしました。

2) 新規就業者確保に向けた取組

近年は、水産高校卒業生であっても漁業への就業が少ない状況にあることから、漁業者から直接、地元漁業の仕事内容や生活の様子を紹介していただき、生徒の漁業への関心を高め、卒業後の進路の一つとして検討してもらうことを目的に、函館水産高校2年生を対象とした漁業ガイダンスを実施しました。

ガイダンスでは、海洋技術科2年生26名が4つのブースに分かれて説明を受け、昨年度の参加者1名が地元漁業へ就職するなど、今後につながる成果が見られています。

※ 本誌「渡島の水産」は、令和6年のデータを掲載していますがトピックスのみ令和7年の内容を掲載しています。

【参考】 渡島総合振興局管内の概要

1 基本項目

項目	全道	渡島管内	割合	振興局別順位	摘要
面積(km ²)	83,424	3,937	4.7%	10位	全国都道府県市区町村別面積調 (国土交通省国土地理院) (令和7年10月1日現在)
人口(人)	5,044,825	359,271	7.1%	4位	住民基本台帳(総務省) (令和7年1月1日現在)
漁業就業者数 (人)	19,938	4,189	21.0%	1位	2023年漁業センサス(農林水産省) (令和5年11月1日現在)
漁業経営体数	9,845	2,482	25.2%	1位	2023年漁業センサス(農林水産省) (令和5年11月1日現在)
沿岸漁協数	71	14	19.7%	1位	北海道水産林務部調べ (令和7年4月1日現在)
港湾数	41	5	12.2%	3位	北海道水産林務部調べ (令和7年4月1日現在)
漁港数	241	57	23.7%	1位	北海道水産林務部調べ (令和7年4月1日現在)
漁船数	21,735	4,875	22.4%	1位	北海道漁船統計表 (令和5年12月末現在)
漁業生産量(t)	1,069,516	123,473	11.5%	4位	令和6年北海道水産現勢
漁業生産金額 (百万円)	285,610	34,250	12.0%	4位	令和6年北海道水産現勢

※八雲町熊石地区を含む

2 主要魚種の漁獲量(令和6年)

項目	全道	渡島管内	割合	振興局別順位	摘要
ほたてがい	409,026	58,164	14.2%	3位	1位:オホーツク(192,599トン)
するめいか	2,411	981	40.7%	1位	
ぶり	16,431	10,046	61.1%	1位	
すけとうだら	116,814	6,559	5.6%	8位	1位:オホーツク(46,000トン)
こんぶ	8,636	3,788	43.9%	1位	
さけ	46,657	106	0.2%	11位	1位:オホーツク(28,701トン)
さば	9,144	4,546	49.7%	1位	
みずだこ	14,406	1,304	9.1%	5位	1位:オホーツク(3,077トン)
やりいか	828	511	61.7%	1位	
なまこ	1,668	234	14.0%	2位	1位:宗谷(678トン)
まぐろ	403	339	84.1%	1位	
きたむらさきうに	3,329	107	3.2%	1位	
わかめ	133	119	89.5%	1位	

出典: 令和6年北海道水産現勢

※単位:トン、八雲町熊石地区を含む